

鹿児島県における人材養成研修

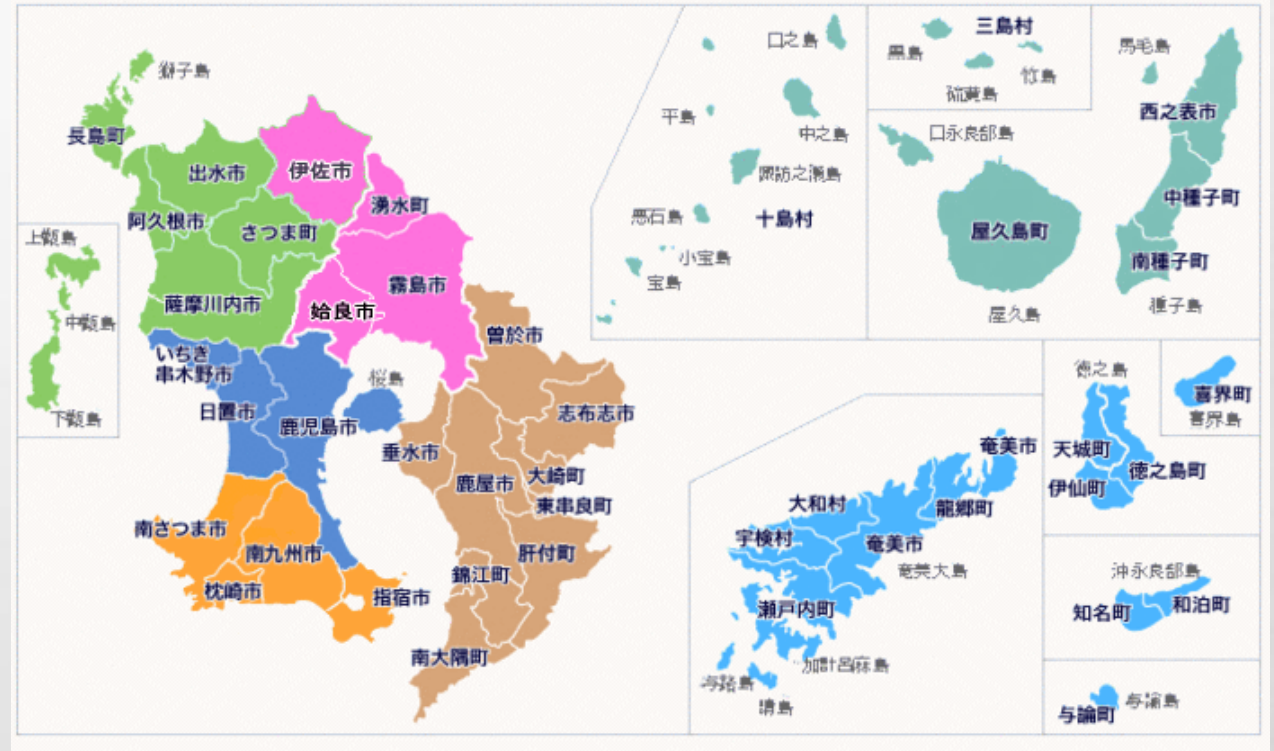


鹿児島県の概要

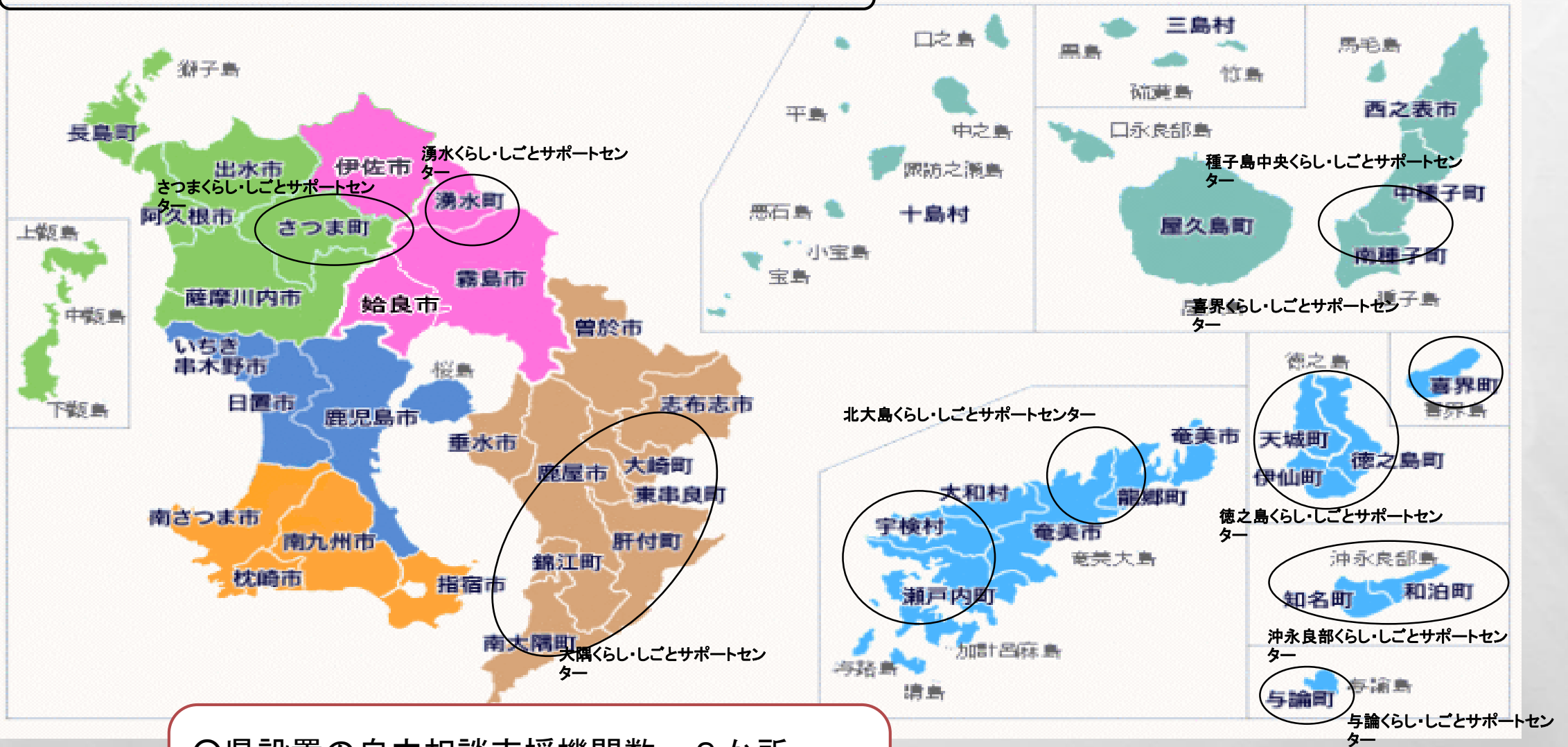
43市町村(19市・20町・4村)

- 人口：1,566,326人 (R4.4.1現在)
- 太平洋と南シナ海に囲まれた南北600キロにわたる広大な県土に28の有人離島がある。

- 自立相談支援機関数：33か所
(内訳)
 - ・福祉事務所設置市町村分 24か所
 - ・県設置分 9か所
- 令和2年度新規相談受付件数：9,720件
→前年度の約3.3倍



生活困窮者自立相談支援事業 県の事業実施区域



- 県設置の自立相談支援機関数：9か所
→県内19町村を所管
- 相談員数 49名

鹿児島県の事例報告

- 令和3年度 コロナ禍での研修について
 - オンライン研修の実施
 - ONLINEお悩み相談会の実施
- 研修実施の成果や課題など
- 令和4年度の研修実施に向けた取組



令和3年度 コロナ禍での研修について

●令和2年7月に編成した研修企画チームにおいて企画・立案

令和2年度中にミーティングを行い、次年度初旬の研修内容や役割分担、年間の大まかなスケジュール等について話し合い。

ミーティングの際に、令和2年度の実績を踏まえ、研修の実施方法について検討。

●令和3年度当初スケジュール

6月 初任者向け基礎研修 (R3～)
11月 担当者研修及びスキルアップ研修

研修企画チーム
構成メンバー

- 国研修修了者(2名)
- 自立支援事業実務者(4名)
- 県社会福祉課職員(2名)

オンライン研修の実施

- 感染拡大の収束が見通せない中、集合型の研修の開催は難しい。
- 南北600キロ、離島を多数抱えていることから、気軽に多くの方が参加できるようオンラインを活用してはどうか？
- 小規模の集合とオンラインのハイブリッド開催は可能か？
 - ハイブリッド開催は運営が難しく、オンライン開催の方が良いとの意見が多かった。
- 多くの人にオンラインでトラブルにならないか？
 - 研修開始30分程度前に通信テストや通信の方法等について、伝える時間を作ればよいのではないか。

 協議の結果、オンライン研修としての実施を決定！

研修の実施状況

令和3年度 実施状況

- ・ 初任者向け基礎研修

計画どおり6月にオンラインで実施。

- ・ 担当者研修及びスキルアップ研修

当初計画は11月実施予定であったが、1月に延期したうえで、オンラインで実施。

オンライン研修における成果や課題①

研修実施において、
課題の想定 → 実施 → 成果 → 次の課題
を行う必要がある。

- オンラインにおいて実施する際に想定される課題
 - 意見を深めるのが難しい。
 - 画面越しだと対面より発言しにくい。
(発言の多い方が1人でもいると、その方に発言が偏りやすくなり、他の方が発言を躊躇してしまいやすい)
 - 受講者が参加型となる取組を行う必要がある。
 - ⇒ ~気付きを深める面談技法~としてロールプレイを取り入れたワークを行うこととした。

オンライン研修における成果や課題②

● オンラインにおいて実施してみた成果

- ロールプレイを取り入れた結果として以下の成果があった。
 - ・ ロールプレイを通して相談者役と相談員役になることで、対話をする機会となり、自分自身の普段の面談を見直す機会にもなった。
 - ・ 他の参加者においては、発言しなくとも観察するという役割が生まれた。
 - ・ ロールプレイ後は振り返りのための発言をする機会を順番でつくったので、全メンバーが発言できた。
 - ・ 支援員が困窮者支援に必要な知識や技術を習得することで、さまざまな状況に対応できる実践力を磨くという研修の明確な目的を持ち、「知っている」から「具体的に実現できる」に変えることができた。
- 集合型であれば各事業所1名しか参加できないところを、複数名で参加することが可能となり、振り返り等も丁寧に行えるため、研修内容の定着に効果があった。

オンライン研修における成果や課題③

- オンラインにおいて実施してみたの課題
 - ロールプレイでは、意見が深めることができたが、それ以外のグループワークでは、意見を深めるのがまだ多少難しい部分がある。
 - 機器と会議室が準備できず、参加できないケースがある。

ONLINEお悩み相談会について

「お悩み相談会」自体は、令和2年の県実施の人材養成研修において、会場において実施していた。

しかし、コロナ禍で集合しての研修ができなくなった。

- ・相談員がそれぞれの自立相談支援機関において孤立してしまいかねない。
- ・コロナ禍でなかなか会えない相談員同士がつながることで、一人じゃなく、悩みを相談できる仲間ができる、一緒に考えてくれる仲間ができる、明日からの業務に前向きになれる取組が必要。

だから・・・

相談員同士がゆるくつながれる方法はないか。

⇒ オンラインでお悩みを聞く「お悩み相談会」を行うこととした。

ONLINEお悩み相談会の実施

お悩み相談会とは…

「断らない支援」と言われ、いつの間にか断ることができず抱え込んでいませんか。

多様で複合化した生活困窮者の相談に毎日のように向かい合う私たち相談員。

相談員自身も相談者への関わり方や対応方法、アウトリーチ、ひきこもり、コロナ…などたくさんの「悩み」があると思います。

「お悩み相談会」は、日頃抱えている相談員の「悩み」を共有し、吐き出せる、また、他の相談員に意見をもらい、自分の枠を飛び越える、新たな視点を取り入れる、そんな場です。

ONLINE

お悩み相談会

県内の相談員と
ゆるくつながりましょう！



2021年6月30日 | 15:00
オンライン

日頃抱えている相談員の「悩み」を共有し、吐き出せる、また他の相談員に意見をもらい、自分の枠を飛び越える、新たな視点を取り入れる、そんな場です。

自由
参加

ONLINEお悩み相談会実施における成果と課題

- ONLINEお悩み相談会を実施してみた成果
 - 気軽に参加できる相談会で緩くつながったことで、業務で困ったときにお互いに相談しやすくなった。
- ONLINEお悩み相談会を実施してみた課題
 - 悩みを気軽に相談しやすいようフリートークが多いため、時間が長くなりやすいので、テーマを決めてもよいのではないか。
(悩みを相談する場なので、長くなることは一概に悪いわけではないが・・・)

令和4年度 研修実施の取組①

●令和4年度の研修実施に向けてミーティング

令和4年3月・4月・5月に、令和4年度研修計画についてミーティングを実施。

- ・ 令和4年3月ミーティングにおいて、大まかな日程について決定。
- ・ 令和4年4月・5月ミーティングにおいて、初任者研修日程及び研修内容等について決定。

令和4年度 研修実施の取組②

- 令和4年度研修をどう実施するか，令和3年度のアンケートを踏まえて
令和3年度の研修時にとったアンケート結果を踏まえ，令和4年度研修計画を検討。

(アンケートの主な内容)

- 事例発表が多い方が良い。
- 担当者研修及びスキルアップ研修の開催時期は，11月頃がよい。
- ONLINEお悩み相談会は，月の中旬開催とし，毎月日を決めた定例開催としてほしい。

令和4年度における研修の実施計画

令和4年度 実施計画

- ・ 初任者向け基礎研修

6月22日にオンラインで実施。

- ・ 担当者研修及びスキルアップ研修

アンケートで多かった11月頃実施とする。（実施方法は今後検討）

- ・ ONLINEお悩み相談会

令和4年度は毎月第3木曜日の13時30分から実施することとする。



コロナ禍で先が見通しにくい状況が続きます。

その中で、生活に困窮されている方々のため、日々奮闘されていると思います。

こんな時だからこそ、それぞれの職場や行政、全国の仲間たちが、「つながる」ことが重要だと思います。

できることから少しずつやっていきましょう！

